



様式第10号（第14条関係）

令和8年 6月 30日

令和7年度持続可能な地域づくり団体支援寄附金実績報告書

鳥取県知事 平井 伸治 様

住 所	鳥取市国府町宮下 192-2
団体名	国府文化協会
代表者職・氏名	会長 上山 忠久

令和7年度に交付を受けた寄附金について、下記のとおり活用して事業を実施しましたので、持続可能な地域づくり団体支援寄附金交付要綱第14条第1項の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

1 寄附金受入額 7年度合計 金 48,000 円

2 添付書類

- (1) 寄附金活用実績報告書＜様式第10号の2＞
- (2) 寄附金活用収支決算書＜様式第10号の3＞
- (3) その他参考資料



寄附金活用実績報告書

事業名	「野村愛正」の顕彰事業とメロディBOXの制作
実施期間	令和7年5月21日～令和8年3月31日
事業の目的	① 鳥取市国府町出身で大正・昭和と活躍した文化人「野村愛正」の50回忌に当たり、その事蹟を掘り起こし、顕彰する。 ② 万葉集の最後の歌を奏でる「メロディBOX」の制作・設置により万葉のふるさとを宣伝する。
事業内容 ※対象者の範囲や人数、実施方法等を具体的に記入。	事業内容 ① 文化人「野村愛正」を紹介・顕彰する冊子を作成、希望者に配布。 ・令和7年6月から10月、A4版、500部 ② 「愛正泉文学賞」の募集と表彰を行った。 復活させた文学賞で、近隣の児童生徒を対象に、国府町の小学校と連携し「ふるさとの誇り」をテーマに作文を募集し、文学への興味を助成した。10名の応募があり、令和7年11月3日に優秀者の表彰を行った。第1回の募集であったが、令和8年度も継続実施します。 ③ 万葉集最後の歌「新たしき年の始めの初春の今日降る雪のいや重け吉事」に作曲された故新井満氏の曲を奏でるメロディBOXを制作し、因幡万葉歴史館の玄関横に設置、令和8年10月18日の万葉集朗読の会の行事として披露する予定である。 以上、①と②は国府文化協会、③は国府町文化遺産活用推進実行委員会が中心に行った。
事業実施の成果・効果	・野村愛正は、国府町出身の著名な作家だったが、現在ではあまり知られていない。冊子を作成し、500冊を町内に配布し顕彰することができた。 ・作文は、郷土の民族芸能への参加を記した者が多く、ふるさと愛が醸成できた。また、新聞にも掲載され次回への関心もできた。 ・メロディBOXの制作は、資金の調達ができ、LIMNOの協賛により製作中で9月中には完成の予定である。 多数の協賛により別途200万円の寄付金募集を行い、ギフ鳥の活用は不要となった。多くの関心と呼ぶことができた。（別会計）

様式10号の3（第14条関係）



令和7年度寄附金活用収支決算書

【収 入】

区 分	金額（円）	内 訳
支援寄附金	48,000	ギフ島 4,000 円×12 口
補助金	100,000	県文化芸術活動支援補助金
自己資本、一般寄附	61,550	国府文化協会
収入 計	209,550	

【支 出】

区 分	金額（円）	内 訳
印刷費	167,750	冊子印刷
雑費	17,073	テープ代、インク代、切手
謝礼	10,000	冊子原稿料
消耗品費	14,727	作文募集経費
支出 計	209,550	

※支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費など、経理上の区分名で記載すること。